

おおさかしかい ふかいぎいんせんきよ
4月10日は、大阪市会・府会議員選挙

とうひょう い じぶん こえ せいじ
みんなで投票に行つて、自分たちの声を政治に！

4月10日(日)は、**大阪市会・府会議員選挙の投票日**。

3月11日、関東・東北地方でおきた未曾有の大地震で大きな被害を受けている。こんなときだからこそ、自分たちが困ったときに、誰なら動いてくれて、政治を任せられるのか、じっくり考え、必ず自分の手で、自分たちの生活をよくしてくれる候補者を選ぶ。

釜ヶ崎に住民登録がある人は、左に書いている投票所です。

(投票時間)あさ朝7時〜よる8時まで

(投票場所)

萩之茶屋1丁目・2丁目

萩之茶屋小学校

萩之茶屋3丁目

今宮小学校

(大阪市の西成区候補者)

届出番号順

1 尾上 やすお	男	56歳	日本共産党	現職
2 さわの しげひろ	男	34歳	大阪維新の会	新人
3 柳本 顕	男	37歳	自由民主党	現職
4 辻 淳子	女	58歳	大阪維新の会	現職
5 いながき ひろし	男	66歳	無所属	新人
6 むらお 政利	男	61歳	無所属	元職
7 小林 みちひろ	男	52歳	民主党	現職
8 前田 おさみ	男	59歳	公明党	現職

(期日前投票ができます) 4月9日(土)までに、

住民登録がある区役所で、あさ8時30分〜よる8時まで

ひがしにほんだいしんさい ぎえんきん ほうこく
「東日本大震災」義援金についてご報告

東日本大震災の被災者を支援するための義援金にご協力いただきありがとうございます。

3月18日から29日までにお預かりした義援金は総額166,310円となり、

うちワンファミリー仙台へ75,000円、ホームレス支援全国ネットへ91,310円届けました。

支援団体を通じて、炊き出し等の被災者支援に充てられます。

今後とも、継続的な被災地への援助のため、引き続きみなさまからのご寄付をお願いします。

指導員の仙台ボランティア報告

NPOを代表して先月24日から仙台へ向かった指導員からの報告～

皆さん！報告が遅れて申し訳ありません。

今、拠点にしている仙台市青葉区は、海からはかなり離れているので津波のえいきょうはまったくなく、地震で建物にヒビがはいった程度で屋根の落ちた仙台駅を除けば外見じょうは普段とかわりません。震災当日は、水道やガスなどライフラインが完全にマヒし、また津波のえいきょうで市内にも多くの帰宅難民があふれ大変だったようです。仙台の仲間たちは、連日1000個のおにぎりの炊き出しをおこないながら津波被害地をまわり食料、衣類をくばる作業を今も続けています。

津波被害にあわなかった所は、ライフラインも回復し始め、物流も回復しガソリンスタンドの列が長い事を除けばほぼ平常に戻りました。しかし、津波被害地区は町ごと消失した地域や海岸部だけ流されあとは一階部の浸水だけの地域と程度の差こそあれ大きな被害を受けています。この様子は、新聞、テレビなどを通して伝わっていると思いますが、現地にきて車で向い峠を越えて前を見るとあるべき建物が全くなくガレキの先に海が見えるという風景そしてさいしょに書いたようにその海がまるで11日がウソのようにおだやかなのを見ると言葉も出ません。

ましてやガレキの中、必死に不明者や思い出の品をさがしている人たちを前にして写真も撮ることとはできませんでした。

現地では復興に向け大きく支援の輪も広がり前に向かって進み始めています。

ガレキ、ヘドロ、車や舟で通れなかった道路も一日行かなければおどろくほどのスピードで整備されていっています。また電気も、まったくのガレキ野原に道路に沿って新しい電柱がたてられ（これはまったく不思議な風景です）ています。こうした中、やっと各避難所までは物資も行き渡りはじめ、当初の津波で生きのびた命をつなぐための支援から健康に気をつけて復興へと向かう大きな転換点にきていると思います。

仮設住宅の建設も始まりました。しかし、指定避難所でも物資の搬入に大きな差があり、集落ごとの「民間避難所」や避難所にはいけず病院や施設でガンバっている人たちの所ではまだまだ物資、そしてなによりも人出が不足しています。

こうした状況の中、私は物資の配送を手伝っています。